AAR Japan
認定NPO法人 難民を助ける会



子どもたちに学習用椅子を届ける
～パキスタン～

パキスタン

子どもたちに学習用椅子を届ける

- 実施期間：2026年10月～
- 募集金額：150万円×1口

パキスタンの基本情報

パキスタンはイスラム教を国教とする南アジアの国です。
1947年の独立以降クーデターが相次いだほか、隣国アフガニスタンの混乱、
インドとのカシミール紛争などの影響もあって政情は安定していません。

面積 ： 79.6万平方キロメートル（日本の約2倍）
人口 ： 2億5,127万人（2024年、世銀）
首都 ： イスラマバード
民族 ： パンジャブ人・シンド人・パシュトゥーン人・バローチ人など
言語 ： ウルドゥー語（国語）・英語（公用語）
宗教 ： イスラム教（国教）



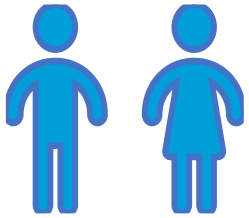
概 況

パキスタンでは就学年齢期（5歳～16歳）にある子どものうち約2,610万人が学校に通えていません。特に女子児童や難民の児童の就学率が低く、さらに障がい児の就学率は5%以下と報告されています。国内では約6,000万人が基本的な読み書きができないと言われています。多くの子どもが学校に通えない背景には、貧困などの経済的問題、学校教育を重視しない社会慣習、バリアフリーに対応していない学校施設などの理由があると考えられます。また、特に公立学校では学校運営の資金が限られており、子どもの学習環境の整備が十分に進んでいません。



78%

初等教育期（５歳から９歳）の児童の総就学率は78%



72%

初等教育期の女子児童の総就学率は72%



62%

パキスタン国内にいる大人の識字率は62.3%

AARの主な活動①

2005年～2010年

パキスタン大地震　被災者支援



インド・パキスタン両国合わせて8万4千人以上が亡くなった大地震が発生。テントや毛布などの緊急支援物資の配付、給水設備の復旧・整備支援を実施。

2010年～2011年

パキスタン洪水支援



ピーク時には国土の3分の1が被害を受ける大規模な洪水被害が発生。緊急支援物資の配付、基礎医療サービスなどを提供。

2011年

難民キャンプに井戸を設置



4万人近い国内避難民と10万人以上のアフガニスタン難民が暮らすノウシェラ郡の難民キャンプに、56基の井戸を設置。

AARの主な活動②

2012年～2020年

アフガニスタン難民・国内避難民支援



アフガニスタン難民およびパキスタン国内避難民受け入れ地域の教育・衛生環境の改善。教室や井戸・トイレ・手洗い場の新設・修繕や、啓発活動を実施。

2016年～2019年

女子小学校の学習・衛生環境改善



「女性に教育は要らない」といった伝統的な差別や習慣より、女性が教育を受ける機会が不足。女子小学校の環境整備を実施。

2025年～

洪水被災地域復興支援



国内各地で洪水が発生。被災した小学校で、教室やトイレ、給水設備などを修繕。あわせて衛生教育や防災教育を実施。

活動地、基礎情報



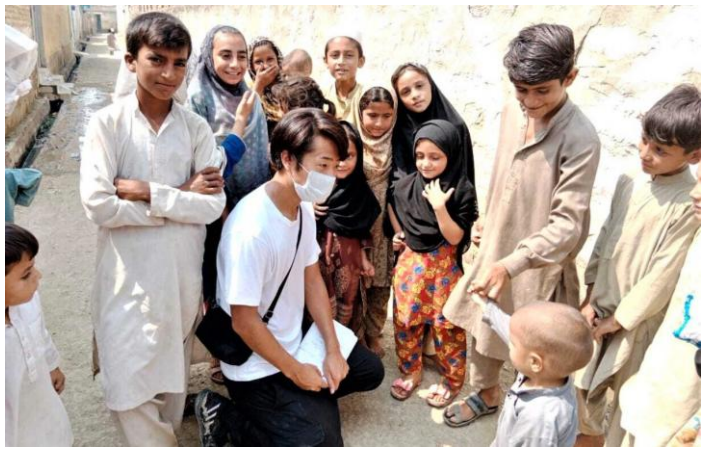


ハイバル・パフトゥンハー州ノウシェラ郡

ノウシェラ郡はパキスタン北西部に位置します。カブール川の水を引いた用水路などによる灌漑が整備されており、地域の主な収入源は農業です。小麦やトウモロコシ、サトウキビなどの栽培が盛んです。

水道や電気など、基礎的なインフラが未整備な地域もあります。また、道路が未舗装でアクセスしにくい地域に立地する学校も少なくありません。





現在の状況と課題





洪水の被害を受け撤去された小学校の防護壁（左）
教室の床はひびが入り、砂ぼこりもたまっている（右）
＝2026年5月

ノウシェラ郡の公立学校では、2025年に発生した洪水被害による学校設備の破損に加え、児童・生徒数の増加によって、学習用椅子の不足が深刻な課題となっています。

床に座って学習を続けることは、身体への負担に加え、学習への集中を妨げる要因となっています。冬には気温が10度を下回ることもあり、冷え切った床に座って授業を受ける子どもも多くいます。衛生面の問題や感染症のリスクもあります。

また、行政機関は限られた予算の中で学校運営を行っており、必要な学習用家具の更新・整備を十分に進めることができていません。

まるごと募金プロジェクト2026－活動概要





被災した学校で、床に座って勉強する女子児童たち＝ノウシェラ郡

床で勉強する子どもたちに

学習用の椅子を届けます

↓

子どもたちが安心して学校で

学べる環境をつくります

活動内容詳細

- 地域の教育局と協力して公立学校の机・椅子の不足状況を調査し、その結果に基づいて、支援の優先度が高い学校と各校に必要な椅子の数を決定
- 耐久性の高い学習用椅子(机・椅子一体型を含む)約400脚を学校へ届ける
- 学校管理委員会と連携し、椅子の適切な維持管理体制を整備する

募集金額

150万円×1口

3校に合計約400脚の椅子(机・椅子一体型を含む)を届けます。400人ほどの子どもが使用できるようになる予定です。

椅子にお名前や法人名を記したステッカーを貼付いたします。



提供する学習用椅子のイメージ

AAR職員から

「学びたい」気持ちを支える学習環境を

子どもたちにとって、長時間コンクリートの床や地面に座って授業を受けることは、心身に大きな負担となります。冷え込みの厳しい冬にはその負担がさらに大きくなるほか、衛生面の問題や感染症のリスクもあります。子どもたちが安心して学べる環境づくりのために、どうか力をお貸しください。



小柳　勇人　OYANAGI YUTO　パキスタン・イスラマバード事務所

教員や民間企業勤務を経て2021年11月にAARに入職、2022年3月よりパキスタン・イスラマバード事務所駐在。広島県出身。趣味はサッカー。

スケジュール

実施期間	2026年10月～2027年3月
	6カ月（予定）
中間報告	事業開始後、2～4カ月後に進捗をご報告
完了報告	事業完了後、2～3カ月以内（予定） 完了報告は、駐在員・現地職員によるオンライン報告会、ご訪問による報告、書面によるご報告など、ご希望に応じて行わせていただきます。

その他

- 現地事情によって支援活動が遅延ないし変更される場合があります。
  その際は、事前にご相談いたします。
- 資金を下回る金額で終了した場合、ご相談の上、次なる支援などに
  活用させていただきます。

お問い合わせ

AAR Japan

特定非営利活動法人　難民を助ける会

〒141-0021　東京都品川区上大崎2-12-2　ミズホビル7F

Tel.03-5423-4511　Fax.03-5423-4450

www.aarjapan.gr.jp

まるごとプロジェクト募金担当：桐生（きりゅう）、平井（ひらい）

フリーダイヤル：0120-786-746